



RIVAGE PM シリーズ ファームウェアアップデートガイド

ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。このアップデートガイドでは、RIVAGE PM シリーズのファームウェアをアップデートする手順を説明します。

- ・このアップデートガイドは、CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3、DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX、RPio622、RPio222 をアップデートの対象としています。
- ・CSD-R7、DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX、RPio622、RPio222 をアップデートすると、それらのデバイスに装着されている RY カードや HY-144-D、HY144-D-SRC 以外の HY カードのファームウェアもアップデートされます。アップデート後に RY カードや HY カードを交換した場合、バージョンコンフリクトのエラーが発生する場合があります。この場合は、それらのカードを装着しているデバイスのファームウェアのアップデート操作を再度実行してください。

NOTE Dante 経由で I/O デバイスをリモート操作する場合は、HY144-D、HY144-D-SRC の Dante ファームウェアを V3.10.4.1 以上にアップデートしてください。

- ・HY144-D、HY144-D-SRCのファームウェアのアップデートは、本書で説明している手順とは別の操作が必要になります。詳細については、下記ウェブサイトを用意されているHY144-DやHY144-D-SRCのファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

ご注意 (必ずお読みください)

- ・アップデート作業中(データのロード中)に機器の電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このアップデートガイドに記載された手順と異なった操作をされると、機器が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ファームウェアおよびアップデートガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ファームウェア、ソフトウェアおよびアップデートガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このアップデートガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Mac または macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・説明のための画像は、Windows 版を使用しています。

目次

CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3 のファームウェアをアップデートする	2
DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX や RPio622、RPio222 のファームウェアをアップデートする	4
CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3 (コンソール I/O) のリカバリー	17

CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3 のファームウェアをアップデートする

アップデートの準備

CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3（以下コンソールと表記）のファームウェアをアップデートするには、USB メモリーを使用します。

- ・ FAT16/FAT32 でフォーマット済みの USB 2.0 または USB 3.0 対応フラッシュメモリーをご用意ください。
- ・ ヤマハのプロオーディオサイトからファームウェアをダウンロードしてください。
<http://www.yamahaproaudio.com/>
- ・ ダウンロードした圧縮ファイルはあらかじめ展開しておいてください。

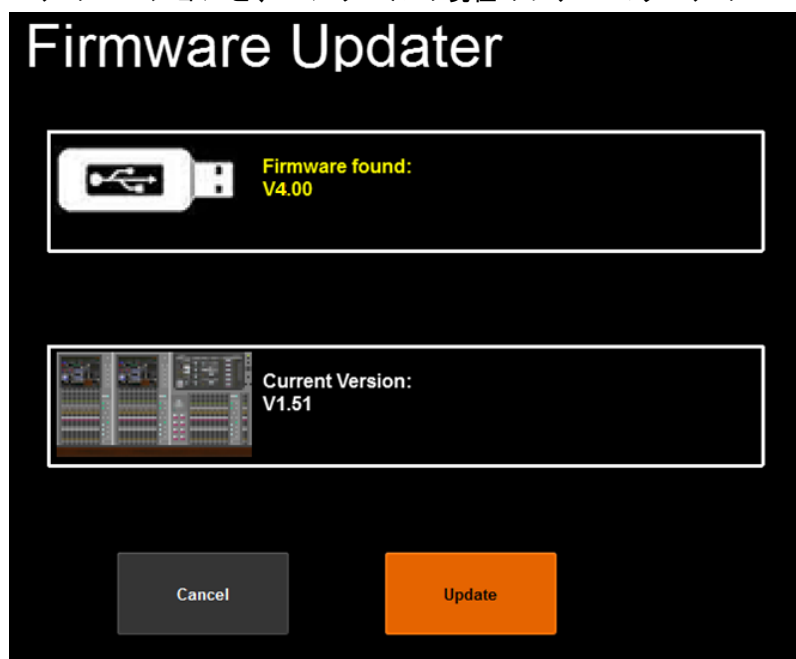
アップデート

NOTE 同じネットワークに接続されている CSD-R7 と RPi0622/RPi0222 は同時にアップデートしないでください。同時にアップデートする場合は、CSD-R7 をネットワークから切り離してからアップデートしてください。

- 1 ダウンロードしたファイルの展開先にあるファームウェアファイルを USB メモリーのルートディレクトリにコピーします。V1.21 以前のファームウェアからアップデートする場合は「rivage_csr10.bin」を、V1.51 以降のファームウェアからアップデートする場合は「rivage_console.bin」をコピーしてください。

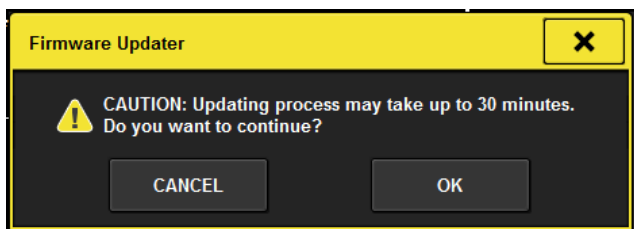
NOTE 正しくアップデートするため、USB メモリー内に「rivage_csr10.bin」と「rivage_console.bin」の両ファイルを同時に置かないでください。

- 2 コンソールの電源をオフにします。
- 3 コンソールの電源コードを、A/B どちらともコンセントに接続します。
- 4 手順 1 の USB メモリーを、コンソールの USB 端子に装着します。
- 5 コンソールの電源をオンにします。
アップデート画面が表示されます。アップデート画面には、USB メモリーにコピーされたファームウェアのバージョンと、コンソールの現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

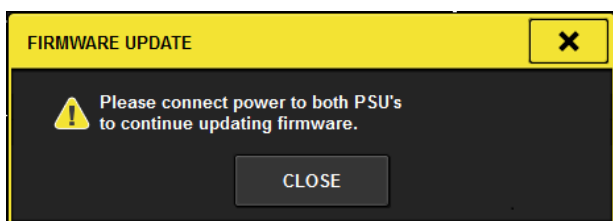


NOTE 機種によっては古いバージョンのファームウェアはサポートしていません。その場合は” Firmware found:”の部分が赤字になります。アップデートはできません。

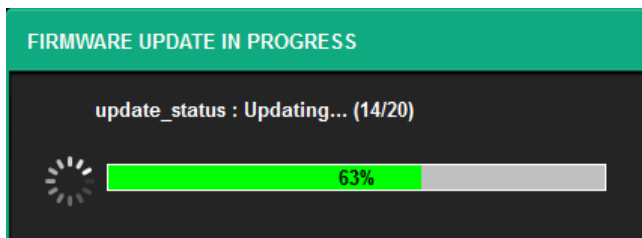
- 6 「Update」ボタンを押します。
ファームウェアのアップデートを実行するかどうかを確認するポップアップ画面が表示されます。



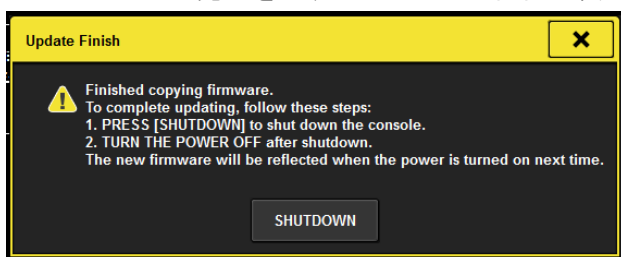
NOTE 手順3でA/B両系統の電源をつないでいない場合は、次のようなメッセージが表示されます。「CLOSE」ボタンを押して、A/B両系統の電源を接続してからアップデートを実施してください。



- 7 「OK」ボタンを押します。
アップデートが始まると、アップデート状況がプログレスバーで表示されます。
アップデート中は電源を切らないでください。



- 8 アップデートの完了を示すポップアップ画面が表示されたら、「SHUTDOWN」ボタンを押します。



- 9 画面が消えて、POWER LEDだけが点灯している状態になったら、コンソールの電源を入れ直して再起動します。

以上でファームウェアのアップデートは完了です。

DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX や RPi0622、RPi0222 のファームウェアをアップデートする

DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX や RPi0622、RPi0222 のファームウェアをアップデートするには、RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER V3.0.0 (以降 RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER) を使用します。

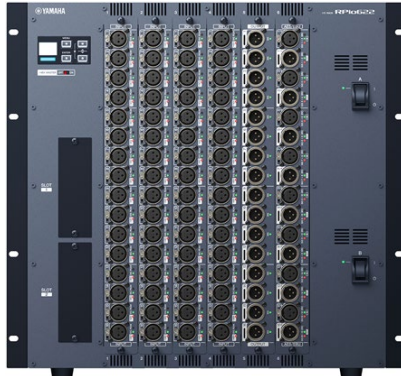
RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER について

RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER は、コンピューターを使ってファームウェアをアップデートするためのソフトウェアです。対象デバイスは下記です。(2020年8月現在)

DSP-R10



RPi0622



DSP-RX/DSP-RX-EX



RPi0222



NOTE 最新の対象デバイスについては、下記 URL をご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

アップデートの流れ

- 1 ファームウェアをアップデートする動作環境を確認します ([5 ページ](#))。
- 2 デバイスとコンピューターを接続します ([5 ページ](#))。
- 3 コンピューターのネットワーク設定を行ないます ([7 ページ](#))。
- 4 アップデートを行ないます ([10 ページ](#))。

ソフトウェアの動作環境

OS	Windows 8.1、Windows 10 32bit/64bit の両方に対応しています。 OS X 10.9.5、OS X 10.10.x、OS X 10.11.x、macOS 10.12.x、macOS 10.13.x、macOS 10.14.x、macOS 10.15.x、macOS 11.x
CPU	Intel Core i3 以上
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量
その他	Ethernet (1000BASE-T/100BASE-TX) 搭載環境

NOTE 上記の動作環境は、RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER V3.0.0 に対するものです。ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境は、下記 URL に最新情報が掲載されています。

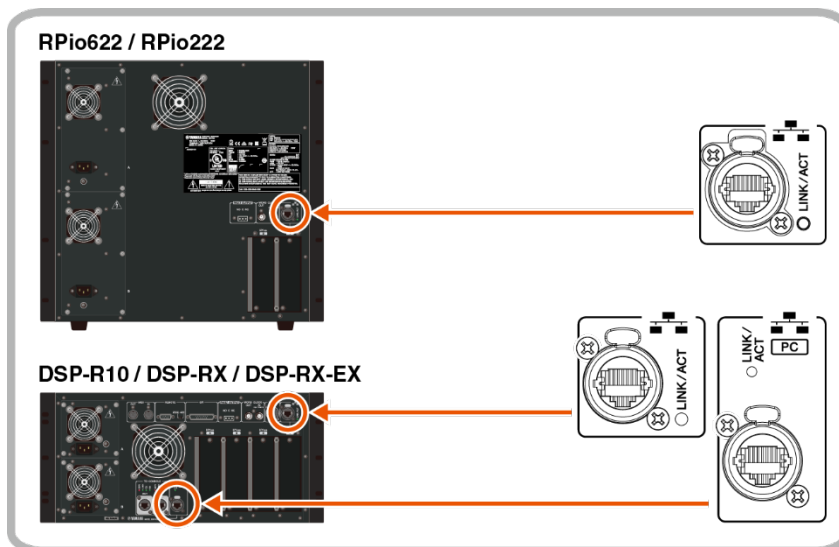
<http://www.yamahaproaudio.com/>

お使いのコンピューターによっては、動作環境以上の条件を必要とする場合があります。
Ethernet ケーブルは CAT5e 以上を推奨します。

デバイスとコンピューターの接続

デバイスを個別にアップデートする場合

アップデートする DSP-R10/DSP-RX/DSP-RX-EX や RPi622/RPio222 などのネットワーク端子にコンピューターを直接接続してください。

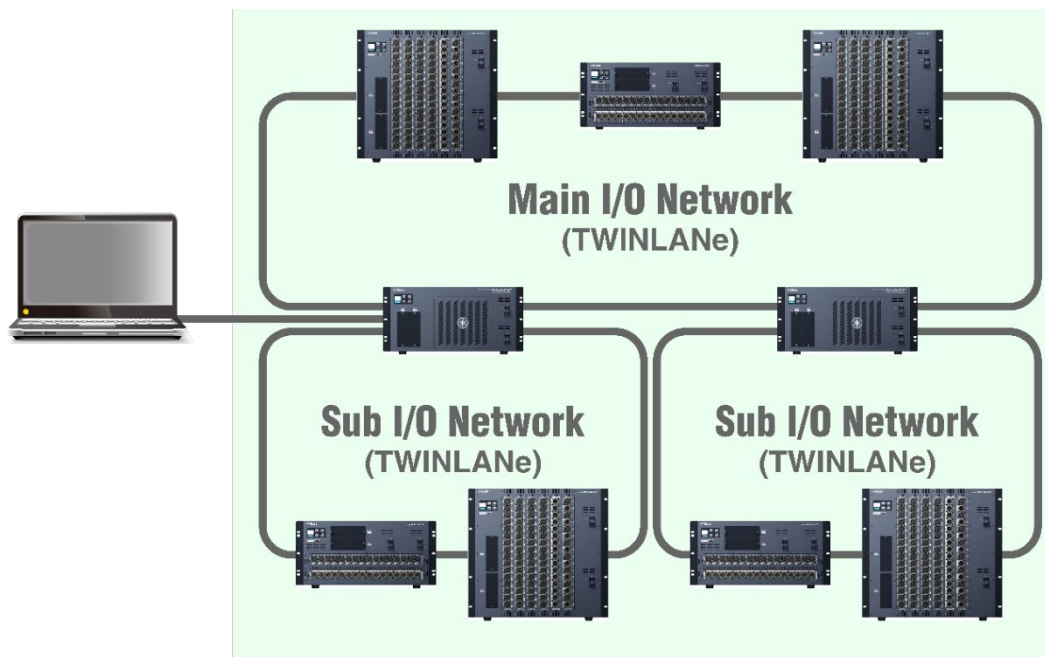


NOTE DSP-R10, DSP-RX, DSP-RX-EX の HY SLOT1 に HY-144-D や HY144-D-SRC カードが装着されている時には、Main I/O Network や Sub I/O Network からのアップデートができないため、外部制御用コンピューター端子に接続して Console Network から個別に DSP-R10, DSP-RX, DSP-RX-EX をアップデートしてください。

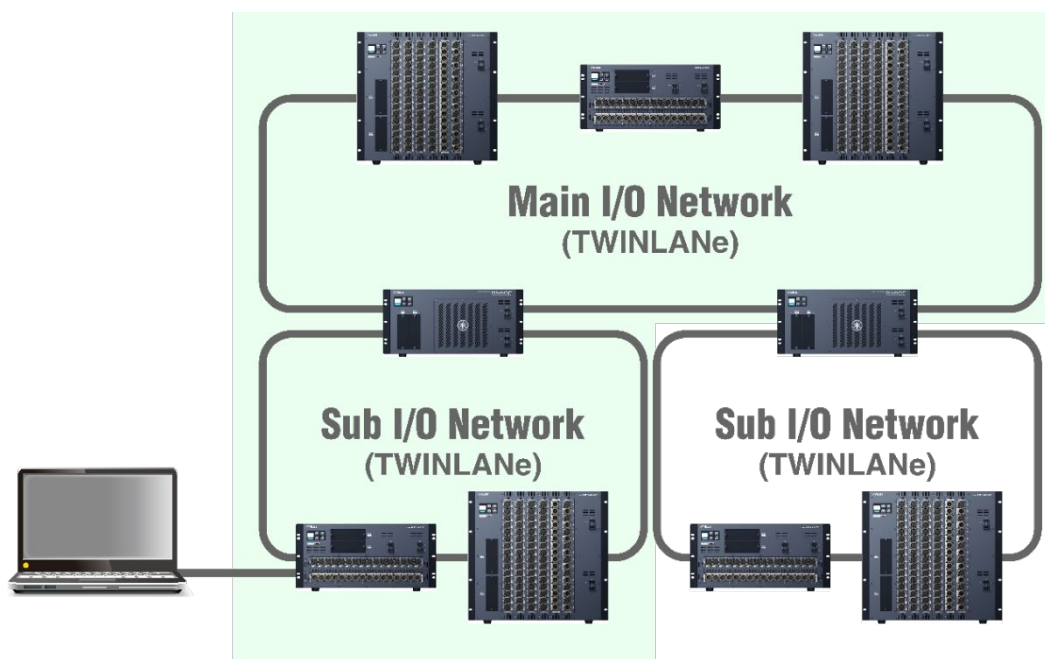
デバイスをネットワーク経由でアップデートする場合

■ 複数のデバイスをネットワーク経由で接続している場合は、まとめてアップデートできます。アップデートに使用するコンピューターは、ネットワーク上の任意のデバイスに接続できます。

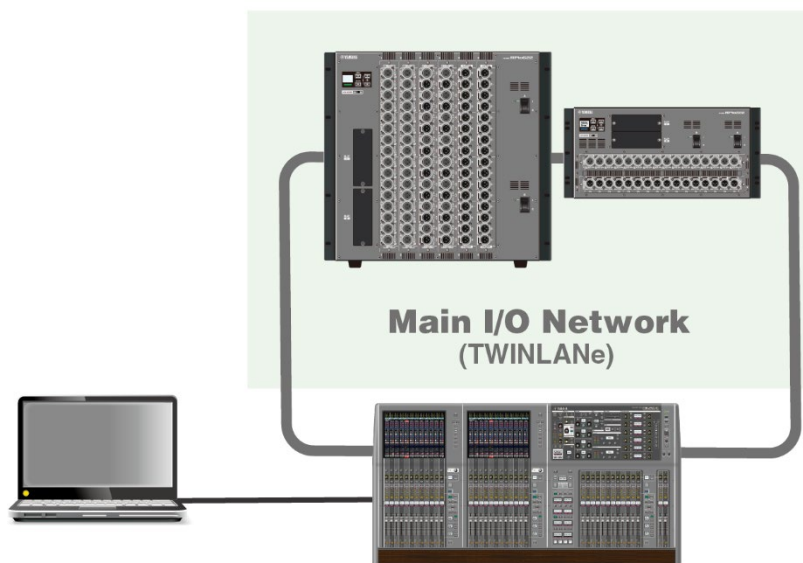
□ コンピューターを Main I/O Network に接続した場合、Main I/O Network とすべての Sub I/O Network に接続されているすべての DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX、RPio622、RPio222 がアップデートの対象になります。



□ コンピューターを Sub I/O Network の RPio622/RPio222 に接続した場合、アップデートの対象は、同じ Sub I/O Network 内のデバイスと Main I/O Network 内のデバイスになります(下図：背景が緑色の範囲)。



□ コンピューターを CSD-R7 に接続した場合、Main I/O Network に接続されているすべての RPi0622、RPi0222 がアップデートの対象になります。

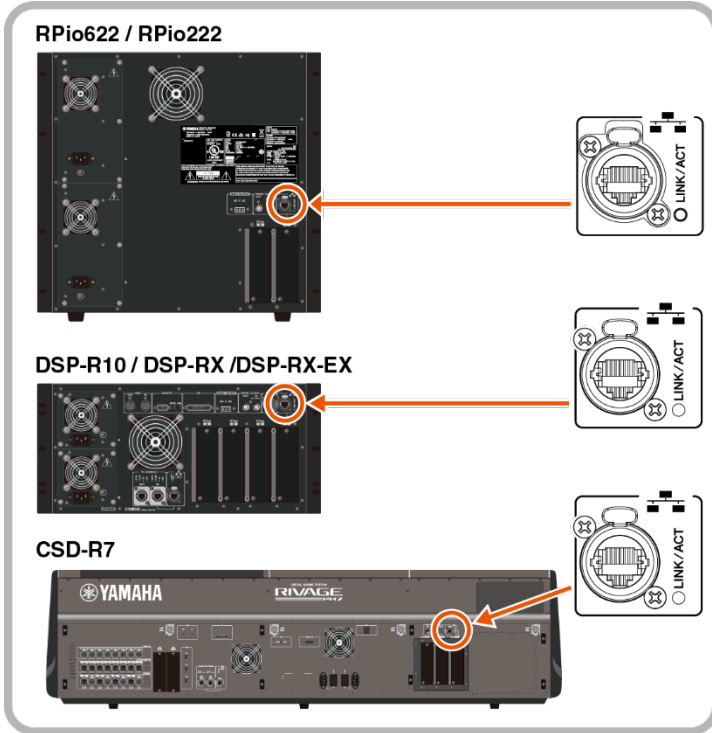


注記 複数のデバイスのネットワーク端子を同一のネットワークスイッチに接続することは絶対に避けてください。これらの端子は、システム内のネットワークを介して相互に接続されるため、ネットワークスイッチにつなぐことでループが生成され、システム内の正常な通信ができなくなる場合があります。

NOTE

- ・ 複数のデバイスで UNIT ID が重複しないようにしてください。アップデートが正常に実行できません。
- ・ Sub I/O Network (DSP-R10/DSP-RX/DSP-RX-EX 対応) を使用するには、Sub I/O Network に接続するすべてのデバイスのファームウェアを V2.0 以上にする必要があります。V2.0 未満のデバイスはコンピューターを直接接続するか、Main I/O Network に接続して V2.0 以上にアップデートしてください。
- ・ 同じネットワークに接続されている CSD-R7 (USB メモリーを使用) と RPi0622/RPi0222 (ネットワーク経由) は同時にアップデートしないでください。同時にアップデートする場合は、CSD-R7 をネットワークから切り離してからアップデートしてください。
- ・ コンソールはネットワーク経由でアップデートできません。USB メモリーを使ってアップデートしてください。[\(2 ページ\)](#)

Ethernet ケーブルは HY スロットの上にあるネットワーク端子に接続してください。



ネットワーク設定

接続するコンピューターのネットワーク設定を下記のように行ってください。

コンピューターの設定

- ・コンピューターを Main I/O Network に接続する場合

IP アドレス	172.17.0.1
サブネットマスク	255.255.0.0

- ・コンピューターを Sub I/O Network に接続する場合

IP アドレス	172.18.0.1
サブネットマスク	255.255.0.0

- ・コンピューターを Console Network に接続する場合

IP アドレス	192.168.53.1
サブネットマスク	255.255.255.0

コンピューターの TCP/IP の設定

コンピューターの TCP/IP の設定をします。

NOTE 手順の途中で「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示されたときは、[続行]ボタンをクリックします。

Windows の場合

- 1 [コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター]または[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックまたはダブルクリックします。
「ネットワークと共有センター」が表示されます。
- 2 「ネットワークと共有センター」の左側の「タスク」一覧の中から[ネットワーク接続の管理]または[アダプターの設定変更]をクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。
(ご使用の環境により[ローカルエリア接続 2]等を選択してください。)
「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されたときは、手順 4 に進みます。
- 3 [プロパティ]をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択して、[プロパティ]をクリックします。
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 [次の IP アドレスを使う(S)]をクリックします。
- 6 [IP アドレス]にコンピューターの IP アドレス、[デフォルトゲートウェイ]にゲートウェイの IP アド

レス、[サブネットマスク]に接続するサブネットのサブネットマスクを入力します。

7 [OK]をクリックします。

8 コンピューターを再起動します。

Mac の場合

1 [システム環境設定]→[ネットワーク]をクリックします。
「ネットワーク」画面が表示されます。

2 デバイスと接続するサービスをクリックします。
Mac 内蔵の Ethernet 端子を使用する場合は、[Ethernet]をクリックしてください。

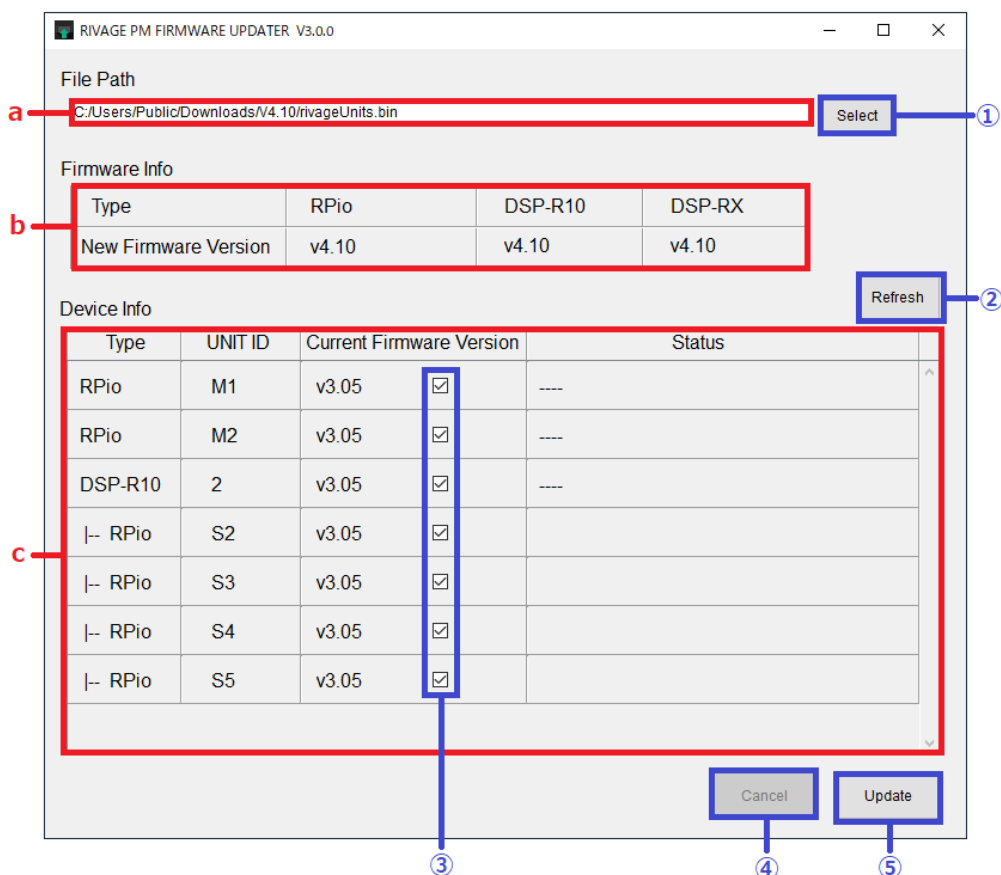
3 IPv4 の設定」で「手入力」を選択し、IP アドレス、サブネットマスクを入力します。

4 [適用]をクリックしてから、「ネットワーク」画面を閉じます。

ファームウェアのアップデート

RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER

ファームウェアをアップデートする RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER の画面は下記です。



a File Path (ファイル選択エリア)

アップデートするファームウェアを選択、表示するエリアです。

b Firmware Info (ファイル情報エリア)

選択したファームウェアの情報を表示するエリアです。

c Device Info (デバイス情報エリア)

アップデートするデバイスの情報を表示するエリアです。

デバイスのタイプ、UNIT ID、ファームウェアのバージョン、ステータスが表示されます。

NOTE 複数のデバイスで同一のUNIT IDが使用されている場合は表示されないため、別々のIDを設定してください。

ステータスはアップデート中に下記の情報が表示されます。

メッセージ	内容
Waiting	アップデート開始待ちです。
Transferring	ファームウェア転送中です。
Writing	ファームウェア書き込み中です。
Cancelled	アップデートがキャンセルされました。
Update finished. Please restart device.	アップデート完了しました。 デバイスを再起動してください。
Update finished. (Do not restart device yet!)	アップデートは終了しましたが、他のすべてのデバイスのアップデートが終了するまで再起動しないでください。
Update failed! Please try again.	アップデートに失敗しました。 アップデートをやり直してください。
Device not found. Please restart device.	デバイスが見つかりません。 デバイスを再起動してください。
Update failed! Single Power Supply.	電源がA/Bのどちらかのみオンになっています。A/B両系統の電源をオンしてください。

① [Select] ボタン

アップデートするファームウェアを選択します。

② [Refresh] ボタン

デバイス情報を更新します。

③ チェックボックス

アップデートするデバイスを選択します。

④ [Cancel] ボタン

アップデート開始されていないデバイスのアップデート作業を中止します。

⑤ [Update] ボタン

アップデートを開始します。

NOTE ファームウェアバージョンがV2.0未満のデバイスが接続されているとSub I/O Networkは認識されません。この場合は、V2.0未満のデバイスをMain I/O Networkに接続してファームウェアをV2.0以上にアップデートした後、Sub I/O Networkに接続しなおしてください。

アップデート手順

デバイスのファームウェアをアップデートする手順を説明します。
ダウンロードした圧縮ファイルはあらかじめ展開しておいてください。

- 1 ダウンロードしたファイルの展開先にある「RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER.exe」(Windows)または「RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER.app」(Mac)をダブルクリックします。
RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER が起動します。
- 2 [Select]ボタンを押して、アップデートするファームウェア「rivageUnits.bin」を選択します。
デバイス情報エリアにアップデート可能なデバイスが表示されます。
デバイスのファームウェアが古い場合、そのデバイスのチェックボックスは自動的にチェックされません。
必要に応じて、チェックボックスでアップデートするデバイスを選択します。
NOTE アップデートをするデバイスが表示されない場合、[Refresh]ボタンを押してください。
- 3 [Update]ボタンを押して、アップデートを開始します。
- 4 アップデートが完了したら、ポップアップ画面が表示されますので、[OK]ボタンを押します。
以上でアップデートは終了です。

NOTE 複数のデバイスを TWINLANe ネットワーク経由で接続してアップデートする場合は、再起動する前にすべてのデバイスを更新してください。

RIVAGE PM FIRMWARE UPDATER のバージョンとデータの対応・互換表

	rivageUnits.bin (V3.05 以前)	rivageUnits.bin (V4.0 以降)
UPDATER V2.0.0	○*1	×
UPDATER V3.0.0	○*1	○

*1 DSP-RX/DSP-RX-EX は対応していません。

NOTE

- ・ アップデートするときは、DSP-R10/DSP-RX/DSP-RX-EX や RPi0622/RPi0222 の A/B 両系統の電源をオンにしてください。
- ・ ファームウェアバージョンが V4.0 未満の DSP-R10 や RPi0622/222 を V4 以降にアップデートするときは UPDATER V3.0.0 を使用してください。

メッセージ一覧

アップデート中にポップアップ画面で表示されるエラー/警告/確認のメッセージは下記です。

■エラーメッセージ

メッセージ	内容	対応方法
Confirm the network setting of the PC to be one of the followings according to the connection. Then relaunch this software. Connection: IP Address (Subnet Mask) Main I/O Network: 172.17.0.1 (255.255.0.0) Sub I/O Network: 172.18.0.1 (255.255.0.0) Console Network: 192.168.53.1 (255.255.255.0)	ネットワーク設定が正しくありません。	コンピューターのネットワーク設定を確認してください。 (7 ページ)
Invalid file type! Please select a valid file.	選択したファイルが正しくありません。	正しいファイルを再選択してください。
Cannot unpack the file.	ファイルの展開に失敗しました。	
File path too long. Make sure that the file path is less than 260 characters.	ファイルの置き場所が正しくありません。	ファイルパスが 260 文字以下の場所に、ファイルを移動してください。
Failed updating device(s) Check network connection and try again.	アップデートに失敗しました。	コンピューターのネットワーク設定を確認して (7 ページ) 、再びアップデートしてください。

■警告メッセージ

メッセージ	備考
Please wait until update is completed.	アップデート中に[X]ボタンが押されました。 中断できないため、アップデート完了までお待ちください。

■確認メッセージ

メッセージ	備考
<p>Cancel update? This will cancel the update of all waiting devices.</p>	<p>アップデート中に[Cancel]ボタンが押されました。 アップデートを終了する場合は[はい(Y)]ボタンを押してください。 進行中のアップデートは中止できません。終了後、アップデート完了します。</p>
<p>Quit this software? One or more devices have not been updated yet.</p>	<p>アップデートされていないデバイスがある状態で[X]ボタンが押されました。</p>
<p>Start update?</p> <p>[ATTENTION] - This firmware update requires that both power supply units are correctly powered and switched on, for all devices to be updated.</p> <p>Otherwise the update will fail.</p>	<p>アップデートを開始するための確認メッセージです。</p>

困ったときは



アップデートするデバイスが表示されない。

症状	対処方法
コンソールをネットワーク経由でアップデートしようとしていませんか？	USB メモリーを使ってアップデートしてください。(2 ページ)
Ethernet ケーブルは正しく接続されていますか？	コンピューターとデバイスは、Ethernet ケーブルで直接接続してください。また、適切な端子に接続しているか確認してください。ネットワーク経由でアップデートする場合は、I/O Network が正しくリング接続されているか確認してください。(5 ページ)
Sub I/O Network にファームウェア V2.0 未満のデバイスが接続されていませんか？	Sub I/O Network 上のすべてのデバイスのファームウェアが V2.0 以上になっていないと、デバイスが認識されません。V2.0 未満のデバイスはコンピューターを直接接続するか、Main I/O Network に接続して V2.0 以上にアップデートしてください。
ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	コンピューターのネットワーク設定を確認してください。(7 ページ)
アップデートするファームウェアを選択しましたか？	ファームウェアファイルを選択してください。(10 ページ)
複数のデバイスが同じ UNIT ID になっていませんか？	複数のデバイスに同じ UNIT ID 割り当てられていると、アップデート対象として表示されません。別々の UNIT ID を設定してください。

アップデートに失敗する。

症状	対処方法
Ethernet ケーブルが抜けていませんか？	Ethernet ケーブルの接続を確認してください。
デバイスの電源スイッチはオンになっていますか？	ファームウェアをアップデートするデバイスの電源がオンになっているか確認してください。
ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	コンピューターのネットワーク設定を確認してください。(9 ページ)
セキュリティーソフトが常駐していませんか？	アンチウイルス/セキュリティーソフトウェアに付属のファイアウォール機能が有効に設定されている場合、正常に通信できない場合があります。セキュリティーソフトを一時停止して、再びアップデートしてください。

ファームウェアミスマッチに関するエラーが表示される

症状	対処方法
<p>コンソールの MAINTENANCE 画面 FIRMWARE VERSION で HY144-D、HY144-D-SRC に  が付いている。</p> 	<p>HY144-D や HY144-D-SRC のファームウェアがシステムと互換性のないバージョンになっています。HY144-D や HY144-D-SRC ファームウェアアップデートガイドを参照してファームウェアのバージョンをシステムと互換性のあるものにしてください。HY144-D や HY144-D-SRC のファームウェアとアップデートガイドは下記 URL からダウンロードいただけます。</p> <p>http://www.yamahaproaudio.com/</p>

「Console local I/O not responding!」という警告が表示される。

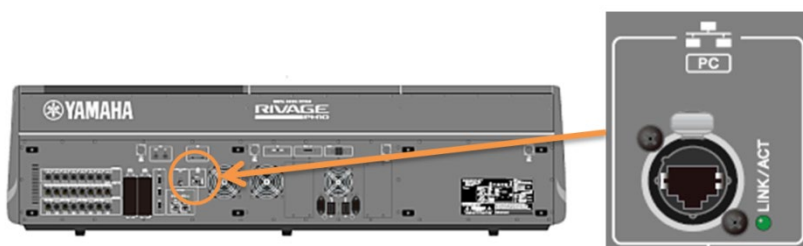
症状	対処方法
<p>アップデート中に電源を落としたなどの理由で「Console local I/O not responding!」という警告が表示された。</p>	<p>RIVAGE PM CONSOLE IO RECOVERY TOOL を用いてリカバリーしてください。(17 ページ)</p>

CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3（コンソール I/O）のリカバリー

NOTE 以下の操作は、コンソールのタッチスクリーンに「Console local I/O not responding!」というメッセージが表示されたときだけ実施してください。

CS-R10、CS-R10-S、CSD-R7、CS-R5、CS-R3 とコンピューターの接続

コンピューターを接続する場合、リカバリーするコンソールのネットワーク端子(PC)に接続してください。



コンピューターのネットワーク設定

接続するコンピューターのネットワーク設定は下記です。

IP アドレス	192.168.53.1
サブネットマスク	255.255.255.0

コンピューターの TCP/IP の設定手順は DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX や RPi0622、RPi0222 と同様です。
(→[9 ページ](#))

リカバリー手順

- 1 ダウンロードしたファイルの展開先にある「RIVAGE PM CONSOLE IO RECOVERY TOOL.exe」(Windows) または「RIVAGE PM CONSOLE IO RECOVERY TOOL.app」(Mac) をダブルクリックします。RIVAGE PM CONSOLE I/O RECOVERY TOOL が起動します。
- 2 [Select] ボタンを押して、リカバリーするファームウェア「rivageUnits.bin」を選択します。
- 3 [Update] ボタンを押して、リカバリーを開始します。
- 4 リカバリーが完了したら、ポップアップ画面が表示されますので、[OK] ボタンを押します。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2018 Yamaha Corporation

2021 年 6 月発行 YJMK-D0